



第447号 2024年8・9月 〒461-0004 名古屋市東区葵2丁目6-35 カトリック名古屋教区広報部 電話 (052) 935-2223 FAX (052) 935-2254 news@nagoya.catholic.jp 印刷所 株式会社 荒川印刷 毎月第1日曜日発行

AGIFTを告げに出ていこう！ 次世代に信仰をいかにつなぐか？ 「隔ての壁」を壊し「新しい人」になろう

教区ホームページ

福音のひびき

Table with 2 columns: Date and Preacher. Includes dates from 4th to 29th of August and 1st of September with names of preachers and parishes.

能登地震被災地視察報告

去る6月29日、「カリタスのとサポートセンター」のスタッフの方に案内していただき、計6名で被災地視察に参加した。当日は、カリタスのとサポートセンター拠点である金沢教会から出発して内灘地区を通り、輪島市の被災の様子、重蔵神社の震災について、メディアで取り上げられることは激減した。ライオンライン復旧も進んでいることか...



被災者・支援者の立場を超えて、互いの存在を活かしあえる活動を展開します。【おもな活動】 ボランティア派遣、社会福祉協議会や他団体との協力・連携など

2024年カトリック平和旬間司教メッセージ

「無関心はいのちを奪います」

教区司教 松浦悟郎

「世界中でいのちに対する暴力が横行しているにもかかわらず、無関心のグローバル化は激しさを増し、すべてはスクリーンの先にある『人ごと』のように取り扱われています。教皇が指摘されるように、人工知能の出現によって、その『人ごと』感が強まっています。いのちを奪われてい

能登半島地震被災地支援における名古屋教区の基本方針 「誰ひとり、置き去りにしないように」 「声なき声を聴き、ともに歩みながら」

名古屋教区青年「のとボランティア巡礼」 6月29日、30日に名古屋教区青年委員会の青年数名で、能登半島地震で被災した三つの教会(羽輪島、七尾)をめぐる、カリタスのとサポートセンターが行っている「じんのびカフェ」に参加す



2024名古屋教区信徒使徒職大会

6月8日の13時から開催した2024信徒使徒職大会の今回のテーマは、愛知、岐阜、石川、福井、富山の信徒が丸となった「がんばろうA G I F T名古屋教区」をメインテーマ、「つなげよう。能登半島地震に支援の輪を」をサブテーマとした。それは、1月1日に起きた石川県能登半島沖地震の被災状況とその対策について、当事者であるカリタスのとサポートセンターのセンター長、片岡義博神父に話してもらった。大会は、まず被災され

た皆様のため、同時に炊き出し等で長い間尽力された。3月に帰天した故竹谷基神父、そして世界の紛争での犠牲者の方々に黙とうを捧げることから始まった。当日は教区の活動団体および各小教区から計100余名の参加者があり、松浦悟郎司教の挨拶の言葉があり、次いで信徒使徒職協議会の平松富男会長からこの大会の趣旨を含め、昨年度の実績、本年度の方針の報告があった。

続いて、片岡神父から約1時間「能登半島地震をとおして、隣人として共に生きる」をテーマに、直接震災から現在までの苦労をリーダーとしての

貴重な話を聞くことができた。次に、テゼのグループによる「テゼの祈り」を捧げ、その間に2回グループ内で個々より発言を受け、他のメンバーは静かに傾聴するという新しい形での「分かち合い」を行い、そのテーマは片岡神父の話を基にした「能登半島地震からの気づき(支援・共同体・共生)」についてだった。続くグループ発表では、活発な発言があり、中でも時間の経過が「忘れること」につながるとの発言があった。能登半島地震から5ヶ月が過ぎ、懸命な復興作業が続いている今、必要なことは関心を持ち続けること

今年、名古屋教区信徒使徒職協議会は50周年を迎え、この半年間を大会成功に向けて「LET'S BEGIN」と「聖霊への祈りのうちに」をにかけて、準備に多くの時間をかけてきた。参加者全員が満足できた内容だったと思っている。なお、当日の「能登半島復興支援献金」は全額55,000円を教区に収めた。

2024年名古屋教区司祭・助祭研修会が6月20日(木)から21日(金)に名古屋市昭和区の杖中にある南山学園研修センターにおいて行なわれ、松浦悟郎司教をはじめ、教区司祭・助祭、修道会司祭計37名が参加した。松浦司教の挨拶、昼の祈り、オリエンテーションに続き、「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」(外キ協)の事務局次長、佐藤信行氏を第1日目の講師に迎えた。自身の経験、東日本大震災時の災害弱者への支援を通して見えてきた在日外国人、特に

2日目は「朝の祈り」があり、前日の講演、分かち合いを受けての松浦司教からの問題提起があり、その後、各ブロック毎に分かれての分かち合いをした。司教からの問題提起とは、①具体的な一歩、自分の置かれている場で個人として、小教区、教区でできること、②聴く教会、分かち合う教会、③地域との関わりをステップ1教会を地域で利用してもらおう。ス

える教会のあり方」と題して、被災地の現状、復興支援の進捗、問題点を神父自身の体験を交えながら話された。その後、各グループ6名、6グループに分かれて分かち合い、休憩を挟んでグループ毎の発表があった。続いて、夕食を兼ねた懇親会では、司祭同士、和気あいあいとした交流の場となった。2日目は「朝の祈り」があり、前日の講演、分かち合いを受けての松浦司教からの問題提起があり、その後、各ブロック毎に分かれての分かち合いをした。司教からの問題提起とは、①具体的な一歩、自分の置かれている場で個人として、小教区、教区でできること、②聴く教会、分かち合う教会、③地域との関わりをステップ1教会を地域で利用してもらおう。ス



不安がある地域の方々にとって、いかに心のよりどころになつていくかをひしひしと感じた。七尾の後には、カリタスのとサポートセンターのスタッフから活動状況について話を聞き、それぞれ帰路へ着いた。2日間を通して、復興の状況や地域の皆さんの生活、そして、カリタスのとサポートセンターのスタッフをはじめとした災害支援を行う方々の働きを知ることができ、これからも同じ名古屋教区内である能登半島のために、青年として何ができるかを考え、実践していくと強く思った。(青年委員会 梁良我)

一粒会の集い(北陸地区)

日時 8月25日(日) 14:00~16:30 (受付13:30)
講演 モルク・フランシスクス・アシジ神父(岡崎教会主任司祭、神言会)
場所 カトリック福井教会 〒910-0004 福井市宝永3-2-3 電話 0776-25-4106
交通機関 JR北陸線「福井」駅下車 徒歩15分 駐車場10台(なるべく公共交通機関をご利用下さい)
プログラム 14:00 開会 講演 15:20 ミサ 松浦悟郎司教司式 16:30 閉会 *閉会后、茶話会があります。
問合せ 西村由美子 0561-54-9754 (留守電可)

2024年 平和旬間について

平和旬間テーマ 「いのちを守る・平和を築く ~こどもとともに考える平和~」
*名古屋カテドラル(布池教会)での企画 8月11日(日) 13:30 第一部(大聖堂地下ホール) 動画を観て、大人とこどもに分かれて分かち合う 15:00 第二部(大聖堂) 平和祈願ミサ(松浦司教司式)
*北陸ブロック(金沢教会) 8月12日(月・祝) 13:00 第一部 おはなしとコーラス 第二部 平和祈願ミサ(松浦司教司式)

港教会献堂60周年&堅信式

6月9日(日)、港教会の献堂60周年記念ミサと子どもを含む7名の堅信式が、松浦悟郎司教を迎えて行われた。

◎堅信式 堅信式の説教で、司教は自分の体験に沿って3つのお話をされた。①「父と子と聖霊の三位一体について」。私たちの信じている神は一人なのに、なぜ三人居るのか。小さい時、父親に聞いた時の答えを思い出す。両親が子供を愛するよう、神は子であるイエスを愛している。その愛が聖霊

によって、私たちへあふれ出て行く。神は愛によって完全に一つになっている。②「聖霊とは何か」。母鳥が餌をヒナ鳥に口移しで食べさせるように、イエスが人間になられて運んできた神の愛やお恵みを、聖霊が私たちに注ぎ込んでくれる。③「何のために堅信を受けるのか」。私たちは小さな力しか持っていないが、聖霊を注がれて神の恵みを受ける。全ての人が神の子として愛される。世界の現況が、神の願い。今日、聖霊の恵みを受け、君たちが、自分に与えられた場を精一杯生きていくことで、神の強い願

いを実現させる手伝いをしていくことができる。 ◎献堂60周年 1964年、港栄町の75坪の土地に八角形三階建ての港教会が建設された。地下鉄築地口駅から近く交通の便が良い立地だったが、駐車場がなく、教会学校の教室は司祭の寝室を間借りするなどの苦勞があり、1997年、錦町の42坪の土地へ引っ越した。献堂当初は200名だった信徒数が、(信徒台帳では)移転時は70名に、現在は800名にまで増えた。コロナ禍で激減した主日ミサの参加人数は、規制緩和で戻ってきたが、次世代へ信仰を伝

えていくために何をやるのか、大きな課題だ。次世代を担う堅信を受けた人たちは、昨年からの毎週勉強を重ね、主任司祭の厳しい試験に合格した。ミサ後のパーティーでは、「勉強は大変だったが、勉強を受けられて良かった。」と油を塗って良かった。「油を塗って良かった。」など頼もしい感想を語っていた。



「堅信の儀」での「洗礼の約束の更新」で受堅者とともに参加者が信仰を宣言し、10年後の70周年、その先の100周年へ向けて、気持ちを新たにしたい記念の日だった。(港教会 鶴見恵)

2024年名古屋教区司祭・助祭研修会

2024年名古屋教区司祭・助祭研修会が6月20日(木)から21日(金)に名古屋市昭和区の杖中にある南山学園研修センターにおいて行なわれ、松浦悟郎司教をはじめ、教区司祭・助祭、修道会司祭計37名が参加した。松浦司教の挨拶、昼の祈り、オリエンテーションに続き、「外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会」(外キ協)の事務局次長、佐藤信行氏を第1日目の講師に迎えた。自身の経験、東日本大震災時の災害弱者への支援を通して見えてきた在日外国人、特に



名古屋教区一般会計報告

2023年度収支決算書の要約

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	23,307,301
司牧協力分担金	68,655,198
信徒協献金	506,333
その他献金・寄付金	3,472,605
能登半島地震義援金	148,898,019
修道会教区宣教協力金	1,400,000
雑収入	320,655
繰入金収入	6,003,229
当期収入合計 (A)	252,563,340
前期繰越収支差額	596,818
収入合計 (B)	253,160,158
支出の部	
活動費管理費	28,669,103
人件費	6,839,155
儀典集会費	214,040
研修費	0
図書印刷費	91,138
中央協分担金他	1,690,000
寄付金	40,000
その他活動費	4,300,142
修繕費	4,884,000
賃借料	2,065,676
会議費	102,897
慶弔渉外費	200,000
旅費交通費	1,183,230
通信運搬費	557,270
備品・消耗品費	1,276,245
水道光熱費	1,146,038
保険料	217,180
その他管理費	3,862,092
司牧協力献金(修道会宛)	51,000,000
教区司祭生活費	17,675,200
委員会助成金支出	3,180,954
福信館助成金支出	1,066,310
広報部特別会計	1,866,040
能登支援特別会計	144,000,690
当期支出合計 (C)	247,458,297
当期収支差額 (A) - (C)	5,105,043
次期繰越収支差額 (B) - (C)	5,701,861

2024年度収支予算書の要約

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
本部維持献金	23,544,802
司牧協力分担金	68,655,198
信徒協献金	500,000
その他献金・寄付金	1,120,000
能登半島地震義援金	30,000,000
修道会教区宣教協力金	1,400,000
雑収入	200
繰入金収入	6,471,000
当期収入合計 (A)	131,691,200
前期繰越収支差額	0
収入合計 (B)	131,691,200
支出の部	
活動費管理費	27,164,000
人件費	7,784,000
儀典集会費	300,000
研修費	500,000
図書印刷費	200,000
中央協分担金他	1,630,000
寄付金	200,000
その他活動費	3,800,000
修繕費	1,000,000
賃借料	2,500,000
会議費	150,000
慶弔渉外費	170,000
旅費交通費	1,500,000
通信運搬費	800,000
備品・消耗品費	500,000
水道光熱費	1,400,000
保険料	230,000
その他管理費	4,500,000
司牧協力献金(修道会宛)	51,200,000
教区司祭生活費	17,455,200
委員会助成金支出	4,005,000
福信館助成金支出	1,067,000
広報部特別会計	500,000
能登支援特別会計	30,000,000
予備費	300,000
当期支出合計 (C)	131,691,200
当期収支差額 (A) - (C)	0
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0

2023年度決算の概観

2023年度の収入源の主なものは、全小教区からのミサ献金、維持費献金の11%からなる本部維持献金と小教区担当の全司祭の生活費の原資となる司牧協力分担金、その他に修道会からの献金等があります。これらで、司祭、職員の人件費、活動費、管理運営費などを賄いますが、不足分が出た場合は一般会計の積立金から補填を行います。

2023年度は新型コロナウイルス感染症上の位置づけが第5類となり、徐々に普段の生活を取り戻しつつ教会活動も活発になってまいりました。しかし、一般会計は約600万円の赤字となり積立金の取り崩しで補うこととなりました。

以下に2023年度の特徴を挙げます。

1. 小教区の皆様のご協力により、教区司祭と修道会への司祭生活費を賄うことができました。
2. 名古屋教区の宣教活動を反映する各委員会は、当初の計画通り活動出来なかった面もありましたが、予算案の執行は全体の約3/4でした。
3. 能登半島地震の被害にあわれた教会関連施設とその被災者支援のために、教区への募金を呼びかけ、教区内外及び海外から多くの義援金が寄せられました。

その他、一般会計以外の名古屋教区の収入源として、従来は事業収入等がありましたが、一部事業終了などにより今後は従前までの収入を見込むことができなくなりました。

繰越金の誤差について

名古屋教区の法人規則に従い、予算は毎年3月末の責任役員会で決定し、評議員会の同意を得ています。その時点では前年度の決算が確定しないため、次期繰越額は仮決算に基づいています。決算は5月末の責任役員会で決定され、評議員会の同意を得ています。この時点で前期繰越額が確定されます。2023年度の次期繰越額と、2024年度の前期繰越額の誤差はそのために生じております。

2024年度予算について

今年度は、特別な行事や大きな支出は予定されていませんが、1月1日に発生した能登半島地震で大きな被害が輪島を中心に能登半島全域に及び、いまだ復旧・復興されずに多くの人々が被災下での生活を強いられています。予算案には被災地復興を願う全国からの義援金を引き続き計上しています。多くの方々からのご支援に感謝をするとともに一日も早い復興と、平穏な日常が被災地に戻ることを願っています。

終わりに

各小教区の皆様のご協力とご支援に感謝申し上げますと共に、福音を告げる熱意は弱まることなく、キリストの心にかかった教区となっていくことができるように、皆さまと共に歩んでいければと思います。

名古屋教区司教 松浦悟郎
名古屋教区会計担当 平田豊彦

2024年度名古屋教区小教区担当司牧者一覧

2024年6月現在

津島愛西 一宮 早川 努	瀨戸 春日井 北向 修一	多治見 ボウオムスキスタニスワウ	高蔵寺 椎尾 匡文	瑞浪 ブルムアーノルド	八熊 平田 豊彦	熱田 山内 信行	日比野 志村 武	港 山野 聖嗣	鳴海 シユエルイジユン	緑ヶ丘 ヤマス ジュゼップ	半田 ジェエロー エウゲニウス	東海・長浦 ミレディエル バガサ フミデアオ ロナウド アウエス オウチエラ	東山 伊藤 大有	平針 伴 八郎	名東 伊藤 大有	恵方町 ナジ エデルベルトウス	膳棚 寺尾 總一郎	南山 ファイラデルフィ パウオル デグズン ドンドン フェウイラ クロマン ウィルフリート リンガマ	布池 平澤 忠雄	城北橋 ハシフリース クリストファー フォンツ マルセリーノ	守山 早川 和彦(助祭)	小牧 鄭 有品	押切 平田 政信	五反城 ハシンドリアス レインゲル	各務原 グラハム ジョン	岐阜 テラー フライアン	江南 スサント プリヨ	大垣 ミッシン ジョイ	美濃加茂 狩浦 正義	三河ブロック 安城 ノウク ボタスラフ ジムント 岡崎 モルク フランシスクス アシジ 刈谷 ホー ショウフエン	北陸ブロック・石川地区 福井/大野 豊 フレアック フリッツ ボンパン ソノボタン カロル ヨハネス	北陸ブロック・富山地区 富山 小川 満 オデイロン 金一	輪島 ポンタツキョ チェリアノ サンケッタ ピエトロ	教区長 松浦 悟郎	名譽司教 野村 純一	司教総代理 平田 豊彦	教区会計 平田 豊彦	本部事務局長 平田 政信	法人事務局長 太田 実
--------------------	--------------------	---------------------	--------------	----------------	-------------	-------------	-------------	------------	----------------	------------------	--------------------	--	-------------	------------	-------------	--------------------	--------------	---	-------------	--------------------------------------	-----------------	------------	-------------	----------------------	-----------------	-----------------	----------------	----------------	---------------	--	---	---------------------------------------	----------------------------------	--------------	---------------	----------------	---------------	-----------------	----------------

2023年度 各小教区諸献金・本部納付金一覧表

(単位:円)

Table with 13 columns: 教会・施設名, 広報の日, 聖ペトロ, 難民移住移動, 世界宣教, 宣教地召命, 世界子ども, 聖地献金, 四旬節, 新教会建設, 諸献金合計, 本部維持費. Rows include churches like 熱田教会, 恵方町教会, etc., ending with a total row '小計'.

※「その他」とは小教区以外の学校、幼稚園、修道会・宣教会からの献金です。
※この表は2023年4月1日から2024年3月31日までに各小教区から教区本部に着金した金額を記載したものです。
※四旬節献金など会計年度をまたがって教区本部に入金された場合には二年度分記載されることもあります。

一粒会特別会計 2023年度会計報告 (2023年4月1日~2024年3月31日)

Table for '収入の部' (Income Section) with columns: 項目, 金額, 備考. Includes items like 一粒会献金, ミサ献金, etc.

Table for '支出の部' (Expenditure Section) with columns: 項目, 金額, 備考. Includes items like 神学院分担金, 養成費, etc.

○収入の部について
・青封筒による「一粒会献金」がほとんどで、約1050万円でした。
・「ミサ献金」は東海、北陸、両集い会場での献金。
・「特別献金」は個人献金と、宣教地召命促進の日の献金。
・「その他の収入」は一粒会以外で神学生のためにとの意向で教区に献金されたものです。

○支出の部について
・「神学院分担金」は、教区神学生が在席していなくても支払いが必要です。カトリック神学院を共同運営する11教区が分に応じて負担する運営経費です。
・「養成費」には神学生以外にも教区で養成を受けている終身助祭候補者の分も含まれます。
・現在、神学生は在席1名で、年間約300万円が必要です。
・「修道会寄付金」は、名古屋教区の小教区運営に協力している修道会への司祭養成のための寄付金です。
・一粒会の大きな支出は上記3項目で約1,425万円、収入の1,136万円を超えています。

・「活動費」は、一粒会の中心的な行事、企画などにかかる費用と、一粒会活動にかかる通信費、印刷費、消耗品費など。
○当期収支は、約360万円の赤字となり、前期繰越金より補充となります。
一粒会の収入は、神学生がいない時期には繰越金として積み立てられますが、神学生が増えるほどに支出も増えますので、繰越金も減っていくこととなります。
★現在、近藤真理生(まりお)神学生が在籍していますが、皆さんのお祈りと献金で神学生を育てていきましょう。
なお、2020年度より一粒会の会計は教区会計の「神学生育成援助金口」と統合され、新しく「一粒会特別会計口」となっています。(一粒会委員長・西村由美子)

名古屋教区平和旬間「それぞれの祈り」

主として小教区での取り組みを紹介します。
詳しくは、社会福音化推進部から各教会に送られている案内をご覧ください。

瀬戸教会 8月4日 10時15分～12時	・ドキュメンタリー映画の上映 軍隊を廃止し、国民の幸福度の最大化に努めたコスタリカの実態に迫った映画。
8月6日～15日 平日 15時 日曜日 8時30分 14・15日 9時30分	・この期間、平和を祈るロザリオ 平和の鶴を折り、聖母被昇天のミサで奉納。 2024年8月平和行進後平和記念公園内「原爆の子の像」に捧げる予定。
南山教会 7月5日～8月3日 各ミサ前 8月4日 13時～15時 8月6日 各ミサの中で	・平和を祈る「ロザリオの祈り」 ・「平和祈念の集い」小林武氏講話「憲法9条を手に沖縄で考える」他 ・アシジの聖フランシスコの平和を求める祈り
東山教会 7月7日～28日 8月15日	・「平和を祈願する霊的花束」を信徒から募集 ・聖母被昇天ミサで奉納
半田教会 8月6日～15日 8月15日	・個人、家族、グループでノヴェナの祈りをする。 ・聖母被昇天のミサの中で、世界平和のため、原爆・戦争によるすべての犠牲者のために祈る。
大垣教会 8月7日～15日 19時30分～20時30分	聖母に平和を願うミサ
東海教会 8月11日 9時30分～	説教後、社会委員の講話、PROTECT ALLLIFEを歌い、共同祈願平和を求める祈り
城北橋教会 8月11日～15日 10時30分～	ミサ後ロザリオの祈り 折り鶴を折って奉納
高蔵寺教会 8月6日～15日 8月4・15・18日 8月15日 9時30分～	ボードに平和メッセージと折り鶴を貼る。 映画「はだしのゲン」、TV「はだしのゲンと父」の鑑賞 聖母被昇天ミサで平和を祈願する。
平針教会 8月25日 10時30分～	永井隆博士記念館館長 永井徳次郎氏の講話
緑ヶ丘教会 8月4日 11時～15時	映画「ギダンさんと憲法誕生」上映とディスカッション 聖体礼拝
各務原教会 8月11日 11時～12時	シスターヨハンナの講話「平和のために今何をなすべきか」
春日井教会 8月11・14・15日 各ミサ	平和のためにロザリオを唱える
刈谷教会 8月11日 9時30分～11時20分	平和祈願ミサ ロザリオの祈り
聖心教会 8月11日 10時30分～11時10分	むぎわらぼうしの会による朗読劇「この子たちの夏」
一宮教会 8月11日 12時～12時30分 8月6日 8時～	大乘公園での慰霊祭 平和祈願ミサ ミサ後司教団の「平和旬間メッセージ」の朗読 ロザリオの祈り
五反城教会 8月4日 9時～10時	平和旬間 国際ミサ
鳴海教会 8月10日 11時～	世界の戦争・平和についての分かち合い
恵方町教会 8月11日 9時～11時45分	平和祈願ミサ ロザリオの祈り エスナックグループ(アジア・アフリカの貧困の子供たちの自立を助ける教育を行う団体)川口さんの講話
北陸ブロック 8月12日 13時～	北陸満友会の麻井紅仁子さんの講演 平和コーラス「悪魔の飽食」を歌う合唱団 平和祈願ミサ
福井教会(大野教会・鯖江教会) 8月11日	平和祈願ミサ ミサ後ロザリオの祈り
敦賀教会 8月11日 9時30分～11時	ミサでの説教を朗読する 聖体賛美式
金沢教会 7月28日 11時15分～12時	アニメ「戦争のつくり方」を視聴して分かち合い

サダナ(神への道)に参加して

私の信仰は、頭だけで神を理解している曖昧な、わかっているような、わかっているような、表面だけをさらっと流しているような、そのような感じだった。

もつと神を深い所で実感したい、何かをわかりたい、つかみたい、でもどうしたらいいのか、わからない。そのような気持ちはずっと感じていた。

瞑想とイマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

小グループで円陣になり、植栗神父(イエズス会)指導のもと、心静かに体の感覚を意識することから始まり、呼吸を活性化しての祈り、自分に届いてくる音を意識して受け止めて耳を開く、心を開くなど、イマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

小グループで円陣になり、植栗神父(イエズス会)指導のもと、心静かに体の感覚を意識することから始まり、呼吸を活性化しての祈り、自分に届いてくる音を意識して受け止めて耳を開く、心を開くなど、イマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

小グループで円陣になり、植栗神父(イエズス会)指導のもと、心静かに体の感覚を意識することから始まり、呼吸を活性化しての祈り、自分に届いてくる音を意識して受け止めて耳を開く、心を開くなど、イマジネーションで「心と知性の静けさ」「神との個人的な触れ合い」を体験するといふサダナが、どのようなものなのか、ずっと気になっていて、名古屋で開催されるという事を知り、是非この機会に体験しなくてはと思い、すぐに参加申し込みをした。

シオンで神との交わりの世界を体験して、今まで感じたことのない心の静けさを実感した。

さらに、分かち合いの時間に、私が感じた心の体験を、言葉にすることによって、実感が自分にはつきり返ってきた。

神はずっと愛と慈しみを注がれて、そばにいてくださり、共に歩いてくださっていたとサダナで気づかせていただき、喜びが溢れた。

神が、私の心に、ずっと収まった。神と一緒に、前へと進んでいきたいと思う。

(聖心教会 夏目律子)

【東海地区・一粒会の集い】



東海地区一粒会の集いが6月30日、南山教会で開かれた。参加者は約100人であった。

第一部は、神言会のアルディ・ハヨン神父(五反城教会主任司祭)が「私の召命」のテーマで講演した。

出身地はインドネシアのフロレス島。インドネシアでは憲法に「全能の神への信仰」が掲げられていて、聖職者は人々から尊敬されている。宗教としては、大多数がイスラム教、他にキリスト教、ヒンズー教や仏教が信じられている。

フロレス島は、人口約200万人のほとんどが、カトリックだそうだが、スライドで見る画像には、南国の明るい美しい聖堂がいくつも紹介され、ミサ中の聖堂は信者で溢れ返り、子供達や若者も多くみんな笑顔で、これが教会なのだと思われ知らされた。

ハヨン神父は、一番大切なのは家庭における信仰教育だという。例えば幼少の時から家族皆が一つに集まって、当番制でお祈りをする。次には学校での信仰教育。インドネシアでは公立学校でも宗教を教えるので、神父やシスターを呼んで黙想のオーブンハウスなどを行い、これらが召命につながる大切な体験となる。そして教会。特に教会学校では、その日のミサ中の説教を文章にまとめ、その神父からサインをもらう制度。初聖体を受けるためには、子供は勿論のこと、その親も神父から試験を受ける必要がある。また世界召命の日には、子供達は好きな修道会の修道服や修道女服を着てミサに与るイベントもあるそう。

ハヨン神父は、ここに書ききれない程の祈りと体験を経て、中学生の頃には神父になりたいと思いはじめ、高校生の頃には「神言会」の司祭になる道を決めた。

第二部は、松浦悟郎司教主司式のミサが捧げられた。説教で「家庭、教会共同体の中で子供の信仰を育てる努力をしていくか、親の信仰として日曜の福音と結びつけながら毎日の生活を送っているか、を考えることが大切」と語った。又、ハヨン神父の司祭叙階式の時にお母様が語られた「息子を神様からお預かりしたので、司祭として神様にお返し致します」という言葉が「召命」への道を表していると話した。

(南山教会 松田征雄)

第39回名古屋教区障害者のつどい

誰も取り残さない、誰も排除しない教会・社会を目指して

日時 9月8日(日) 10:00開催(受付開始9:00)

場所 カトリック一宮教会 一宮市大宮1-7-1
交通 名鉄、又はJR一宮駅下車 東口から600m 駅前から車椅子用リフトカー準備

プログラム

- 10:00 ミサ 司式 松浦悟郎司教
- 11:30 昼食・交流(必要な方は弁当申込み可)
- 13:00 講演 講師 藤野高明氏
一手と光を失って教師となる
- 15:00 終了

申込み締切 8月19日
*申込方法、その他詳細は、7月末に各教会に配布する会報81号をご覧ください。

共催 カトリック名古屋教区障害者連絡会
カリタス福祉委員会、濃尾ブロック

問合せ カトリック名古屋教区障害者連絡会
電話 052-852-1426(カリタス福祉委員会内)

2024年度 名古屋教区合同追悼ミサ

- カトリック名古屋教区霊園(名古屋市立八事霊園内)
日時 9月23日(月・秋分の日振替休) 14時(雨天中止)
- 第一カトリック墓地(東八事霊園内)
日時 10月13日(日) 14時(雨天中止)
- 第二カトリック墓地(東八事霊園内)
日時 11月3日(日) 14時(雨天中止)

【雨天中止について】

・当日のNHKの朝の天気予報で、午後はっきりと雨天と予報された場合は中止。午前11時まで事務所で電話の対応あり。

・中止の場合、12時に現地に中止の看板を設置。

【お願い事項】

・駐車場に限りがあるため、出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。

・名古屋市霊園管理事務所の指導により、墓地への納骨の際は、申請・許可が必要です。八事霊園の方は事前に、教区本部事務局墓地係までお知らせください。東八事霊園の方は、管理会社(株)名古屋浄苑(電話 052-831-1370)までお問合せ下さい。

【問合せ】

カトリック霊園管理事務所 名古屋市東区葵二丁目6-35 カトリック名古屋教区本部事務局内
電話 052-935-2223 FAX 052-935-2254



- 9月の教会暦**
- 1日(日) 年間第22主日 被造物を大切に作る世界祈願日 すべてのいのちを守るための月間(〜10月4日)
 - 3日(火) 聖グレゴリオ一世教皇教会博士(記)
 - 8日(日) 年間第23主日 日本205福者殉教者(記)
 - 10日(火) 聖ヨハネ・クリゾストモ司
 - 29日(木) 洗礼者聖ヨハネの殉教(記)
 - 28日(水) 博士(記)
 - 27日(火) 聖モニカ(記)
 - 25日(日) 年間第21主日 聖モニカ(記)
 - 24日(土) 聖バルトロマイ使徒(祝)
 - 22日(木) 聖ピオ十世教皇(記)
 - 21日(水) 天の元后聖マリア(記)
 - 20日(火) 聖ベルナルド修道院長教会博士(記)
 - 18日(日) 年間第20主日 聖ベルナルド修道院長教会博士(記)
 - 15日(木) 聖母の被昇天(祭)
 - 14日(水) 聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司祭殉教者(記)
 - 11日(日) 祝 年間第19主日 (祝)
 - 10日(土) 聖ラウレンチオ助祭殉教者(祝)
 - 8日(木) 聖ドミニコ司祭(記)
 - 6日(火) 主の変容(祝)
 - 4日(日) 年間第18主日 日本カトリック平和旬間(〜15日まで)
 - 1日(日) 聖アルフォンソ(リグロ)司教教会博士(記)

- 8月**
- 14日(土) 教会会博士(記)
 - 15日(日) 十字架称賛(祝)
 - 16日(月) 祝 聖コルネリオ教皇 聖チプリアノ司教殉教者(記)
 - 20日(金) 聖アンデレ金と同志殉教者(記)
 - 21日(土) 聖マタイ使徒福音記者(祝)
 - 22日(日) 年間第25主日
 - 23日(月) 祝 聖ピオ(ビエト)レチーナ司祭(記)
 - 27日(金) 聖ビンセンチオ・ア・パウロ司祭(記)
 - 28日(土) 聖トマス西と15殉教者(記)
 - 29日(日) 年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金)
 - 30日(月) 聖ヒエロニモ司祭教会博士(記)
- 9月**
- 3日(火) 正義と平和委定例会
 - 7日(土) 宣司評運営委員会*
 - 8日(日) 教区障害者の集い*
 - 10日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会
 - 11日(水) カリタス福祉委員会
 - 14日(土) 殉教者委定例会/典礼委員会/コアミーティング/信徒協役員会
 - 17日(火) カトリック看護協会例会
 - 19日(木) 顧問会/月集*
 - 21日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」難民移住移動者共に生きるための研修会
 - 23日(月) 祝 教区八事霊園合同追悼ミサ*

- 8月の教会暦**
- 4日(日) 三河B「平和旬間ミサ」
 - 6日(火) 日本カトリック平和旬間
 - 10日(土) 典礼委員会コアミーティング/信徒協役員会/中高学生会主催映画上映会/中高学生会合宿(11日(日)まで)
 - 11日(日) 祝 教区平和旬間行事:ミサ(布池教会)*
 - 12日(月) 祝 北陸ブロック平和旬間行事:ミサ(金沢教会)*
 - 13日(火) 樹の会
 - 25日(日) 北陸ブロック一粒会の集い(福井教会)*
- 告知板**
- ◇8月の炊き出し
 - 木1日 東山、8日 布池、15日 南山、樹の会、22日 城北橋、29日 一宮
 - 金2日 喜望の会、9日 南山、16日 布池、23日 長浦、30日 布池
 - ◇9月の炊き出し
 - 木5日 布池、12日 ひまわり・南山・樹の会、19日 聖霊・南山・樹の会、26日 城北橋、金6日 喜望の会、13日 布池、20日 恵方町、27日 一宮

建設費の返済に協力を

668件 35,573,214円
目標額 40,000,000円 (6月末現在)

達成率 約88.9%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

カトリック名古屋教区 平和旬間 企画 「隣人のゆくえ あの夏の歌声」 映画上映会

日時 8月10日(土) 14:00~16:00 (13:30~受付)
場所 カトリック布池教会 大聖堂地下ホール
会費 500円 定員 120名
申込み方法 URL: https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdgabIRiAieCHJpOZ_m2_3hJ4n1Clc8Wt2by5I4I-QoLclFDw/viewform
*中高生会の平和の集いに参加される方は申込み不要です
申込期限 8月9日(金)
企画・問合せ先 カトリック名古屋教区 青少年司牧部 担当司祭 伊藤大有 (TEL: 052-781-6514 東山教会)

日本カトリック神学院の ザビエル祭2024と一緒にしよう!

出発日 11月23日(土・祝) / 日帰り
行き先 日本カトリック神学院 (東京都練馬区関町東2-7-10)
主な行程 (東海地区) JR名古屋駅より新幹線で東京へ、(北陸地区) JR金沢駅・富山駅より新幹線で大宮(または東京)へ、JR、西武鉄道乗り継いで神学院へ行きます。ザビエル祭の企画を午後2時頃まで楽しみ、帰路・新幹線でそれぞれ名古屋・金沢・富山へ。

集合 (東海) JR名古屋駅 朝6時、(北陸) JR金沢駅 朝5時半・JR富山駅 朝6時
*詳細は出発の2週間前にお知らせします。
参加費用 6,000円 (往復交通費、昼食代)
募集対象 中学生以上の男女、および保護者
定員 東海地区・北陸地区・スタッフも含め全部で30名
申込先 (郵便) 461-0004 名古屋市東区葵2-6-35 カトリック名古屋教区本部事務局内 一粒会・平田豊彦神父 (FAX) 052-935-2254 カトリック名古屋教区本部事務局内 一粒会・平田豊彦神父
※申込受付後、参加費用の振込先を連絡します。
※申込み切 8月31日(土) 必着
問合せ 山内雪 (090-8420-2318)、菅野成之 (090-6691-8025)、西村由美子 (090-1279-9932)
主催 名古屋教区一粒会・青少年司牧部・中高生会

カルメル修道会日比野修道院、黙想企画

【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】

—キリストの十字架の恵みをより味わうために—

日時 9月21日(土) 14:30~16:30
テーマ サムエル記の全体構造とメッセージ①
持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。
場所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)、参加費無料
どなたでもご自由にご参加ください。
担当 志村武神父(カルメル修道会)
問合せ 日比野修道院 (052-671-1003)
以降の予定 10月19日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)

♪♪第31回ウェルフェアコンサート開催♪♪

今年は、作曲家の三枝成彰さんプロデュースのもと、演歌歌手の神野美伽さん、ソプラノの小林沙羅さん、カウンターテナーの村松稔之さん、テノールの笛田博昭さん他の皆さんによる「美しき日本のうた 名古屋公演」をお贈りします。

日時 10月17日(木) 17:45開場、18:30開演
会場 愛知県芸術劇場コンサートホール 〒461-0825 名古屋市東区東桜一丁目13-2
主催 AJU 自立の家後援会
申込み・問合せ
・コンサート案内 2024_31th.pdf
・ホームページ <https://aju-cil.com/concert31th/>
上記ホームページから、お申し込みができるほか、FAXでのお申し込みも可能です。FAXでお申し込みの場合は次の内容を記載の上、FAX番号 (052)841-2221までお送り下さい。
①お申し込み日、②席種 (A:6,000円、B:5,000円、C:4,000円、車いす席:4,000円)、③枚数、④合計金額、⑤チケットお受け取り方法 (1. 来所時に現金と引換 希望日、2. チケット郵送及び専用振込用紙にて郵便振替)、⑥ご氏名及び団体名、⑦連絡先 TEL・FAX、⑧ご住所
それでは、楽しいひとときをお過ごしください。皆様のお越しをお待ちしております。
AJU 自立の家後援会事務局 (担当: 木下努) 〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15 TEL 052-841-5554、FAX 052-841-2221
また7月3日よりチケット販売がスタートします。チケットの発送は受付後順次行っていますが、1・2週間程度お時間を頂く場合があります。2週間経ってもチケットが届かない場合は、恐れ入りますがご連絡をお願いします。尚、座席の指定はお受けできませんのでご了承ください。

【静修の集い】

日時 10月26日(土) 10:00~15:00
講話担当 九里彰神父(カルメル修道会)
テーマ 詩「むしられたバラ」より
—リジーの聖テレーズの愛の道—
スケジュール 講話①、ご聖体顯示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)。どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問合せ 日比野修道院 (052-671-1003)

正義と平和委員会 学習会のお知らせ

日時 9月3日(火) 10:30~12:00
場所 福信館2階
テーマ 「能登半島地震からの警告 ~止まってよかった志賀原発、造らせなくてよかった珠洲原発」
講演者 大沼淳一さん (原子力市民委員会福島部会員、市民放射能測定センター運営委員)

名古屋教区事務所から 夏季休暇のお知らせ

8月14日(水)~16日(金)、夏季休暇でお休みします。